

令和 8 年度 農作物病虫害発生予察 8 月月報

令和 8 年(2026年) 9 月 1 日

山 口 県 病 害 虫 防 除 所

I 気象概況

アメダス山口県防府地点

月・半旬	気 温 (℃)								
	平 均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
8.1	30.5	28.0	2.5	36.0	33.4	2.6	26.2	24.0	2.2
8.2	29.6	28.0	1.6	34.2	33.3	0.9	25.9	24.0	1.9
8.3	27.6	27.7	△ 0.1	32.5	33.0	△ 0.5	24.0	23.8	0.2
8.4	28.6	27.3	1.3	31.9	32.6	△ 0.7	26.5	23.4	3.1
8.5	29.5	26.9	2.6	33.9	32.1	1.8	26.3	22.9	3.4
8.6	29.5	26.3	3.2	33.3	31.5	1.8	27.0	22.4	4.6
平均・計	29.2	27.4	1.9	33.6	32.7	1.0	26.0	23.4	2.6
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
8.1	0.0	27.8	△ 27.8	51.3	34.8	16.5			
8.2	3.0	27.1	△ 24.1	37.9	34.1	3.8			
8.3	0.0	31.6	△ 31.6	39.8	32.0	7.8			
8.4	1.0	34.9	△ 33.9	36.0	30.5	5.5			
8.5	0.0	35.0	△ 35.0	53.7	29.5	24.2			
8.6	0.0	42.6	△ 42.6	51.2	33.6	17.6			
平均・計	4.0	199.0	△ 195.0	269.9	194.5	75.4			

II 作物の生育状況

- (1) イネ : 早生品種の出穂期は、平年に比べ 1 ～ 2 日程度早かった。中生品種は、茎数が平年よりやや少なく、出穂期は平年並～やや遅い見込み。
- (2) ダイズ : 6 月播種の開花期は概ね平年並～やや遅い。開花期以降、降水量が少なく推移したため、一部ほ場では干ばつで落花・落莢が見られた。
- (2) カンキツ : 梅雨明け以降、まとまった降雨がないことから、果実肥大は平年並～小さく推移している。また、果実分析結果（一部産地）では、糖度は平年より高く、酸度は低い傾向となっている。

Ⅲ 病害虫の発生状況

1 普通作物

2026年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
イネ いもち病(葉いもち) (調査ほ場数：上旬82、 下旬76)	上旬の調査では、発生ほ場率19.5% (平 年22.8%)、発病株率4.1% (平年 9.1%)、発病度1.0 (平年2.4)、病斑 の最上位葉2.4葉(平年2.6葉)で平年に比 べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年15.5%)、発病株率5.2%(平年 4.9%)、発病度2.0(平年1.5)で平年並で あった。	県内全域	中	222
			少	3,329
			計	3,551
いもち病(穂いもち) (調査ほ場数：上旬 下旬49)	初発生は、8月6日(平年8月8日)柳 井市で確認し、平年並であった。 上旬の調査では、発生ほ場率0%(平年 6.2%)、発病株率0%(平年1.1%)、発病 穂率0%(平年0.1%)、被害度0(平年0.0) で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率16.3% (平年16.7%)、発病株率2.2%(平年 3.1%)、発病穂率0.1%(平年0.7%)、発 病度0.1(平年0.4)で平年並であった。	県内全域	少	1,776
紋枯病 (調査ほ場数：上旬82、 下旬76)	上旬の調査では、発生ほ場率1.2%(平年 10.6%)、発病株率0.1%(平年1.2%)、 発病度0.0(平年0.3)で平年に比べ少な かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率11.8% (平年20.8%)、発病株率1.1%(平年 3.1%)、発病度0.4(平年1.2)で平年に比 べ少なかった。	県内全域	少	1,998
ごま葉枯病	上旬の調査では、発生ほ場率32.9%(平 年16.6%)、発病株率13.1%(平年 5.4%)、発病度3.3(平年1.4)で平年に比 べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率56.0% (平年28.4%)、発病株率27.4%(平年 13.1%)、発病度7.4(平年3.3)で平年に 比べ多かった。	県内全域	中	2,441
			少	6,659
			計	9,100
縞葉枯病	上旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年0.1%)、発病株率0%(平年0.0%)で平 年並であった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年0.2%)、発病株率0%(平年0.0%)で平 年並であった。	—	—	—
ばか苗病	上旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年0.2%)、発病株率0%(平年0.0%)で平 年並であった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年0.2%)、発病株率0%(平年0.0%)で平 年並であった。	—	—	—

2026年8月

病虫害名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ 白葉枯病、黄化 萎縮病、萎縮病	上旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並であった。	—	—
稲こうじ病 (調査ほ場数：下旬 47)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.5%)、発病株率0% (平年0.0%) で平年並であった。	—	—
もみ枯細菌病 (調査ほ場数：上旬 10、下旬48)	上旬の巡回調査では、発生は認められなかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率4.2% (平年1.9%)、発病株率0.5% (平年0.2%)、発病穂率0.0% (平年0.0%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 444
ツマグロヨコバイ (調査ほ場数：上旬 82、下旬76)	上旬の巡回調査では、発生ほ場率7.3% (平年21.7%)、10株当たり虫数0.0頭 (平年0.5頭) で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率6.6% (平年13.9%)、10株当たり虫数0.1頭 (平年0.2頭) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 1,316
セジロウンカ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率9.8% (平年39.2%)、10株当たり虫数0.5頭 (平年21.1頭) で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.5% (平年26.9%)、10株当たり虫数0.2頭 (平年6.0頭) で平年に比べ少なかった。	県内全域	少 1,754
トビイロウンカ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率2.4% (平年11.7%)、10株当たり0.0頭 (平年2.9頭)、10株当たり短翅型成虫数0.0頭 (平年0.9頭) で平年並であった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率6.6% (平年26.0%)、10株当たり虫数0.1頭 (平年30.7頭)、10株当たり短翅型成虫数0.0頭 (平年0.4頭) で平年並であった。	県内全域	少 1,096
コブノメイガ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率54.9% (平年30.7%)、被害葉率0.3% (平年0.6%)、20回払い出し虫数0.8頭 (平年0.8頭) で平年並であった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率69.7% (平年30.4%)、被害葉率1.9% (平年0.7%)、20回払い出し虫数2.9頭 (平年1.2頭) で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 1,973 少 9,648 計 11,621
イチモンジセセリ (イネツトムシ)	上旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年2.7%)、10株当たりつと数0個 (平年0.0個) で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.4%)、10株当たりつと数0個 (平年0.0個) で平年並であった。	—	—

2026年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
イネ ニカメイガ、イネ ヨトウ	上旬及び下旬の巡回調査では、発生は認められず、平年並であった。	—	—	
フタオビコヤガ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.7%)、10株当たり虫数0頭 (平年0.0頭) で平年並であった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率1.3% (平年0.2%)、10株当たり虫数0.0頭 (平年0.0頭) で平年に比べ多かった。 7月26日～8月25日の予察灯 (県内3か所) の誘殺数は330頭 (平年70頭) で平年に比べ多かった。	県内全域	少	219
イネクロカメムシ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率3.7% (平年0.6%)、25株当たり虫数0.2頭 (平年0.0頭) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.3%)、25株当たり虫数0頭 (平年0.1頭) で平年並であった。	県内全域	中	219
			少	439
			計	658
イネカラバエ (調査ほ場数：下旬49)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.2% (平年0%)、被害株率0.6% (平年0%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少	1,096
斑点米カメムシ類 (調査ほ場数：上旬32、 下旬28)	上旬の巡回調査 (出穂ほ場) における20回すくい取り調査では、発生ほ場率46.9% (平年63.2%)、虫数2.3頭 (平年3.8頭) で平年並であった。主要種はホソハリカメムシ、シラホシカメムシ類であった。 下旬の巡回調査 (出穂ほ場) における20回すくい取り調査では、発生ほ場率28.6% (平年61.7%)、虫数1.9頭 (平年2.5頭) で平年に比べやや少なかった。主要種はイネカメムシ、クモヘリカメムシであった。 7月26日～8月25日の予察灯 (県内3か所) の誘殺数は、2,409頭 (平年1,757頭) で平年に比べやや多かった。内訳はクモヘリカメムシ163頭 (平年並：平年186頭)、アカスジカスミカメ1,888頭 (やや多：平年1,293頭)、アカヒゲホソミドリカスミカメ145頭 (平年並：平年145頭)、ミナミアオカメムシ44頭 (多：平年20頭)、イネカメムシ216頭 (やや多：平年108頭) であった。	県内全域	多	433
			中	1,083
			少	2,817
			計	4,333

2026年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
ダイズ べと病 (調査ほ場数：21)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率23.8% (平年37.2%)、発病株率17.9% (平年22.6%)、発病度4.5 (平年5.9) で平年並であった。	県内全域	少	209
葉焼病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率4.8% (平年12.1%)、発病株率0.6% (平年3.7%)、発病度0.1 (平年0.9) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少	42
立枯性病害	下旬の巡回調査では、発生ほ場率23.8% (平年2.9%)、発病株率1.9% (平年0.2%) で平年に比べ多かった。 発生病害は、白絹病、立枯病であった。	県内全域	少	209
褐色輪紋病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年9.5%)、発病株率0% (平年5.1%)、発病度0 (平年1.3) で平年に比べ少なかった。	—	—	—
吸実性カメムシ類 (調査ほ場数：上旬19、下旬21)	上旬の巡回調査では、発生ほ場率26.3% (平年43.8%)、1㎡当たり虫数0.2頭 (平年0.3頭) で平年に比べやや少なかった。主要種はイチモンジカメムシ、ミナミアオカメムシであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率42.9% (平年47.4%)、1㎡当たり虫数0.2頭 (平年0.3頭) で平年に比べやや少なかった。主要種はホソヘリカメムシ、イチモンジカメムシであった。 7月26日～8月25日の予察灯 (県内3か所) の誘殺数は62頭 (平年60頭) で平年に比べやや多かった。内訳はアオクサカメムシ7頭 (やや少：平年32頭)、ミナミアオカメムシ44頭 (多：平年20頭)、イチモンジカメムシ11頭 (やや多：平年8頭) であった。	県内全域	中	42
			少	334
			計	376
フタスジヒメハムシ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率31.6% (平年56.5%)、1㎡当たり虫数0.6頭 (平年1.9頭) で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率57.1% (平年67.0%)、1㎡当たり虫数3.3頭 (平年8.2頭) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	多	167
			中	84
			少	251
			計	502
ウワバ類、オオタバコガ等の チョウ目	上旬の巡回調査では、発生ほ場率52.6% (平年72.4%)、1㎡当たり0.6頭 (平年0.9頭) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率57.1% (平年78.1%)、1㎡当たり虫数0.3頭 (平年1.1頭) で平年に比べ少なかった。	県内全域	中	167
			少	334
			計	501

2026年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)																						
ダイズ ウコンノメイガ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率10.5% (平年16.0%)、被害株率0.3% (平年1.4%) で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率9.5% (平年20.3%)、被害株率1.6% (平年3.8%) で平年並であった。	県内全域	少	84																					
サヤムシガ類	上旬の巡回調査では、発生ほ場率42.1% (平年31.7%)、25株当たり被害か所数1.0 (平年1.4) で平年並であった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率19.0% (平年10.2%)、25株当たり被害か所数0.2 (平年0.4) で平年並であった。	県内全域	多 中 少 計	42 292 459 793																					
ハスモンヨトウ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年12.6%)、1a当たり白変か所数0か所 (平年0.2か所)、1㎡当たり虫数は0.0頭 (平年0.1頭) で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率61.9% (平年31.9%)、1 a 当たり白変か所数0.9か所 (平年0.5か所)、1㎡当たり虫数は0.2頭 (平年0.7頭) で平年に比べやや多かった。 8月1日～31日のフェロモントラップ(防府市牟礼)の誘殺数は2,707 頭(前年3,293頭)であった。 7月21日～8月20日のフェロモントラップ(県内5か所)の誘殺数は6,547頭(平年4,243頭)で平年に比べやや多かった。 <table><tr><th colspan="3">フェロモントラップでの誘殺数(頭)</th></tr><tr><th>地点</th><th>本年</th><th>平年</th></tr><tr><td>周南市熊毛</td><td>3,094</td><td>1,299</td></tr><tr><td>山口市阿東</td><td>619</td><td>665</td></tr><tr><td>萩市明木</td><td>64</td><td>107</td></tr><tr><td>下関市清末</td><td>1,341</td><td>761</td></tr><tr><td>柳井市伊陸</td><td>1,429</td><td>1,411</td></tr></table> ※7月21日～8月20日の合計	フェロモントラップでの誘殺数(頭)			地点	本年	平年	周南市熊毛	3,094	1,299	山口市阿東	619	665	萩市明木	64	107	下関市清末	1,341	761	柳井市伊陸	1,429	1,411	県内全域	中 少 計	84 209 293
フェロモントラップでの誘殺数(頭)																									
地点	本年	平年																							
周南市熊毛	3,094	1,299																							
山口市阿東	619	665																							
萩市明木	64	107																							
下関市清末	1,341	761																							
柳井市伊陸	1,429	1,411																							
コガネムシ類	上旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年3.0%)、被害度0 (平年0.2) で平年並であった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率14.3% (平年9.1%)、被害度0.1 (平年1.9) で平年並であった。	県内全域	少	125																					

2 果樹

2026年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
カンキツ (調査ほ場数:19) かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.8% (平年9.8%)、発病果率1.8% (平年1.1%)、発病度0.5 (平年0.4) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少	161
そうか病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.8% (平年16.5%)、発病果率7.0% (平年1.0%)、発病度3.6 (平年0.6) で平年に比べやや多かった。	県内全域	多	54
			少	107
			計	161
黒点病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率94.7% (平年63.8%)、発病果率27.4% (平年15.1%)、発病度10.2 (平年4.0) で平年に比べやや多かった。	県内全域	甚	54
			中	54
			少	859
			計	967
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率78.9% (平年31.3%)、寄生葉率12.3% (平年6.9%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	多	54
			中	107
			少	644
			計	805
ミカンサビダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年0%)、被害果率0.2% (平年0%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少	54
チャノキイロアザミウマ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年14.4%)、被害果率0.1% (平年0.5%) で平年に比べ少なかった。	県内全域	少	54
ナシマルカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率36.8% (平年28.9%)、寄生果率5.5% (平年2.6%) で平年に比べ多かった。	県内全域	多	107
			中	107
			少	161
			計	375
イセリアカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.5% (平年5.5%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少	107
ヤノネカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.5%) で平年並であった。	—	—	—
ルビーロウムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.2%) で平年並であった。	—	—	—
ツノロウムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.6%) で平年並であった。	—	—	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年2.6%)、寄生新梢率0% (平年0.1%) で平年並であった。	—	—	—
ナシ ナシヒメシンクイ	7月26日～8月25日のフェロモントラップ (萩市) における誘殺数は27頭 (平年46.9頭) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	—	—

2026年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
果樹全般 カメムシ類 (チャバネアオカ メムシ、ツヤアオカ メムシ、クサギカ メムシ)	7月26日～8月25日の予察灯(県内4か所) における誘殺数は1,593頭(平年560頭)で 平年に比べ多かった。 主要種はチャバネアオカメムシであっ た。 7月26日～8月25日のフェロモントラップ (県内3か所)によるチャバネアオカメム シの誘殺数は21,049頭(平年3,396頭)で 平年に比べ多かった。	県内全域	—

3 野菜

2026年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)																					
野菜、花き類 アブラムシ類	防府市牟礼の黄色水盤トラップ(8月 1 日 ～31日)の誘殺数は40頭(前年123頭)で あった。	県内全域	—																					
ハスモンヨトウ	8月 1 日～31日のフェロモントラップ(防 府市牟礼)の誘殺数は2,707頭 (前年 3,293頭) であった。 7月21日～8月20日のフェロモントラップ (県内 5 か所)の誘殺数は6,547頭(平年 4,243頭)で平年に比べやや多かった。 <table><tr><th colspan="3">フェロモントラップでの誘殺数 (頭)</th></tr><tr><th>地点</th><th>本年</th><th>平年</th></tr><tr><td>周南市熊毛</td><td>3,094</td><td>1,299</td></tr><tr><td>山口市阿東</td><td>619</td><td>665</td></tr><tr><td>萩市明木</td><td>64</td><td>107</td></tr><tr><td>下関市清末</td><td>1,341</td><td>761</td></tr><tr><td>柳井市伊陸</td><td>1,429</td><td>1,411</td></tr></table> ※ 7月21日～8月20日の合計	フェロモントラップでの誘殺数 (頭)			地点	本年	平年	周南市熊毛	3,094	1,299	山口市阿東	619	665	萩市明木	64	107	下関市清末	1,341	761	柳井市伊陸	1,429	1,411	県内全域	—
フェロモントラップでの誘殺数 (頭)																								
地点	本年	平年																						
周南市熊毛	3,094	1,299																						
山口市阿東	619	665																						
萩市明木	64	107																						
下関市清末	1,341	761																						
柳井市伊陸	1,429	1,411																						
オオタバコガ	8月 1 日～31日のフェロモントラップ(防 府市牟礼)の誘殺数は1頭(前年0頭)で あった。	県内全域	—																					
コナガ	8月1日～31日のフェロモントラップ(防 府市牟礼)の誘殺数は1頭 (前年2頭) で あった。	県内全域	—																					
シロイチモジヨト ウ	8月 1 日～31日のフェロモントラップ(防 府市牟礼)の誘殺数は334頭(前年382頭) であった。	県内全域	—																					
コガネムシ類	7月26日～8月25日の予察灯(県内 3 か所) の誘殺数は266頭(平年248頭)で平年に比 べやや多かった。	県内全域	—																					

お問い合わせ先

山口県農林総合技術センター(山口県病害虫防除所)

TEL (0835) 28-1211(代)

FAX (0835) 38-4155

E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp